

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 27 年度期末）

（ア）取組実績の評価（１）：事業の実施状況の評価

評価項目

1 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	・地域課題の解決に向けてファシリテーション手法を用いて意見交換を進めていることは評価できる。 ・「コノハナのハナシ」や「総務部交流会」を開催し、地域間の担当者の交流に努めていることは評価できる。 ・組織運営に関わっては、会計勉強会の開催や、事業計画・予算計画においても適切な支援ができています。

（イ）取組実績の評価（２）：事業の実施体制等の評価

評価項目

1 自由提案による地域支援の実施状況

2-1 スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制

2-2 フォロー（バックアップ）体制等

3 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
B	・「プロボノ」による地域課題解決に向けた支援については、企業等に勤める人材のノウハウを学ぶうえで有効であった。 ・体制については、各地域活動協議会運営委員会への支援も機能している。 ・自主防災組織による避難所開設訓練・津波避難訓練について地域と行政との中間支援組織の役割が来ている。 ・区役所担当部署との連携も問題ない。

（ウ）取組効果の評価：目標等の達成状況の評価

評価項目

1 アンケート調査

2 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」の達成状況
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」の達成状況
- (3) 「Ⅲ 組織運営」の達成状況

(4) 「Ⅳ 区独自取組」の達成状況

3 その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・地域の活動や課題について話し合うことが活発になったとの評価が高位値な回答となっている事は、この間の地域支援の結果と評価する。 ・C B／S B化については、区役所と連携しながら事業化していくことを今後期待したい。

(エ) 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

1 総合評価Ⅰ

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	A	・適切な地域特性の課題分析・整理がされている
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	・適切に目標が設定されている。
(3) 区のマネジメントに合った取組	A	・適切な取組ができています。

2 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	A	・地域団体からの評価も高く、信頼関係が構築されている。 ・ファシリテーション手法による課題整理やプロボノの活用など、画一的な支援ではなく各地域活動協議会の進捗度合に合わせた地域支援ができています。今後とも地域課題の解決に向けた具体的取組の実践に向けた支援を期待する。

(評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない